Gakken ものの しくみ研究室

アンケート結果速報

ロボットプログラミング

はじめてから

3年後のわたしたちを見てください

プログラミング学習をすると「いろいろな力がつく」といわれています。では、どんな力が、どんな時期につくのでしょうか。また、子どもたちに、どのような変化が見られるのでしょうか。
「もののしくみ研究室」の受講生の保護者の方1,000名にアンケートを行いました。





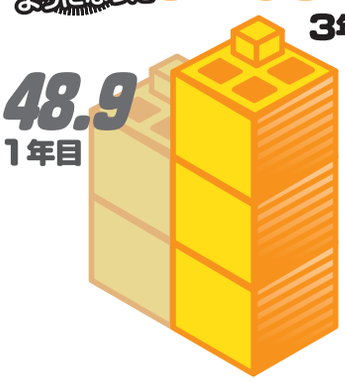


保護者に聞いた ロボットプログラミング講座を、はじめてからの子どもの変化

「集中力」「読解力」「表現力」の大切な3つの力が、3年の間に目に見えて高まっていることがわかりました。

※そう思う、まあそう思う、と回答した人の割合

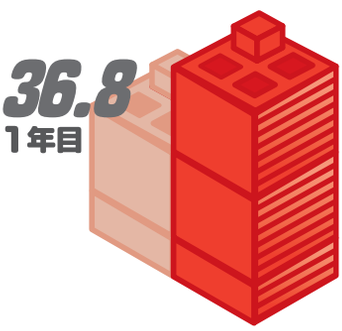
勉強や物ごとに集中できるようになった 74.3 3年目



ロボットプログラミング講座をはじめてから3年目には、4人のうち3人から「勉強や物ごとに集中できるようになった」という回答を得ています。

「もののしくみ研究室」のテキストには、楽しさと、集中しなければ解決できない困難な問題が同居しています。楽しみながら集中力を高めるトレーニングを気づかないうちにしているのです。

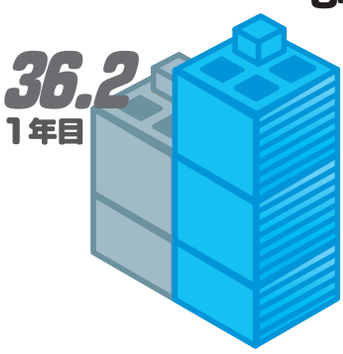
読解力が上がった 54.3 3年目



ロボットを思い通り動かすまでには、テキストに記されている組み立て方、プログラムを作るときのフローチャートなど、「読解」が必要な場面が数多く出てきます。

「もののしくみ研究室」の3年目では、巻頭の文章や研究資料を読んでプログラミングのヒントにしたり、プログラムにどんなことが書かれているかを解いたりします。3年目で変化が現れているのはそのためかもしれません。

表現力が上がった 62.9 3年目



くふうして、まわりとは違う独創的な作品ができたとき「まわりに知ってほしい」、「見てほしい」、という気持ちが自然に表れてきます。

「もののしくみ研究室」では、まわりに知らせたくなる、自ら表現したくなる「くふう」を大切にしています。作品のアレンジ例を出したり、「企業が商品に取り入れたくふう」を掲載しているのはそのためです。

・調査期間：2019年1月1日～1月31日
・調査対象：全国の「もののしくみ研究室」受講生の保護者
・会員平均受講期間：16.3か月
・調査方法：教室を通してアンケート配布と回収
・有効総数：1020件

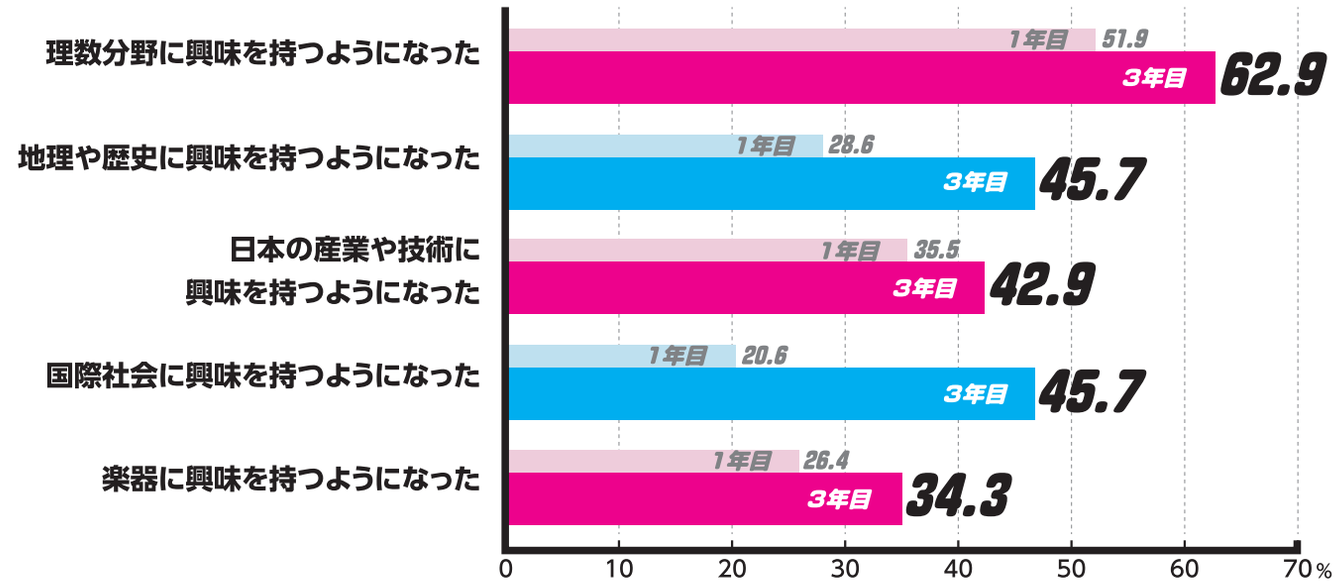
3年間のプログラミング講座でわかったおどろきの成果

集中力、読解力、表現力の「3つの力」以外にも、興味・関心の広がりや、将来に向けた意識の変化があらわれてきました。

理数分野に! 社会科分野に! 興味・関心がどんどん広がる!

ロボットプログラミングは、理数分野と深い関係があるため、1年目から理数に興味が出てくる子どもが多いという結果が出てきています。一方で、地理や歴史、国際社会といった社会科分野への興味は、3年目に大きく伸びています。

これは「身近なもの」を扱い、豆知識や企業インタビューを掲載している「もののしくみ研究室」の特長かもしれません。プログラミングを通じ、様々な教科を好きになり、そしてさらに幅広い分野に、興味・関心を持つようになるのです。

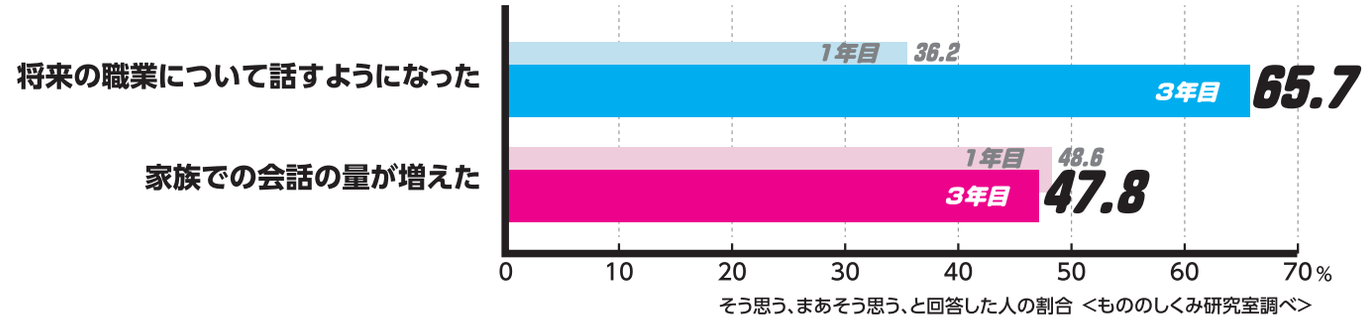


そう思う、まあそう思う、と回答した人の割合 <もののしくみ研究室調べ>

会話が変わった!? 65%が「将来の職業」について家庭で話す!

年を重ねるごとに、子どもとの会話時間が少なくなるといわれていますが、「もののしくみ研究室」に通うお子さんがいる家庭では、2人に1人が「会話の量が増えた」と回答しています。そして、「将来の職業について話すようになった」お子さんが65.7%いることから、会話の質も変わっていることがわかります。

この先、たいへん予測しにくい未来が待っています。しかし、「もののしくみ研究室」に通うお子さんは、常に先を見て、臨機応変に対応する「生きる力」が備わってきていると考えてよいでしょう。



そう思う、まあそう思う、と回答した人の割合 <もののしくみ研究室調べ>

もののしくみ研究室について
もっと詳しく知りたい方は

http://robot.gakken.jp/

アンケートの情報も掲載しています

もののしくみ研究室

お問い合わせ先
TEL 03-6431-1337(平日9〜17時)
株式会社学研エデュケーショナル営業部

アンケートに関するお問い合わせ先
TEL 03-6431-1329(教務部)